



瑞浪の未来を考える

大人と一緒に学ぶ 「子どもプログラミング教室」

～未来の地域ICT教育に向けて～

団体概要

団体名：「みずなみらい塾」

設立：2017年9月

構成員：6名



未来の働き方「テレワーク」という考え方を推進し、障がい者、子育て女性、自宅で介護する人たちにも、働ける環境づくりを行う。

そして、IT、ICTを普及させ、テレワークの環境整備、技術者の育成を行っていき、若者の都市部への流出を防ぎ、地域が活性化することを目的とし活動しています。



補助金事業

大人と一緒に学ぶ 「子どもプログラミング教室」

【目的】

都市部との格差がないよう、瑞浪市の子どもたちにもＩＴ教育の機会を提供する。

未来を担う子どもたちに、プログラミングの楽しさ、興味をもってもらう。

保護者の方にも一緒に参加してもらい、プログラミングについての理解をしてもらう。





収支報告

収入の部（計1,248,088円）

- 参加費：103,000円
- 団体事業費：775,561円
- 夢づくり市民活動補助金：369,527円

支出の部（計1,248,088円）

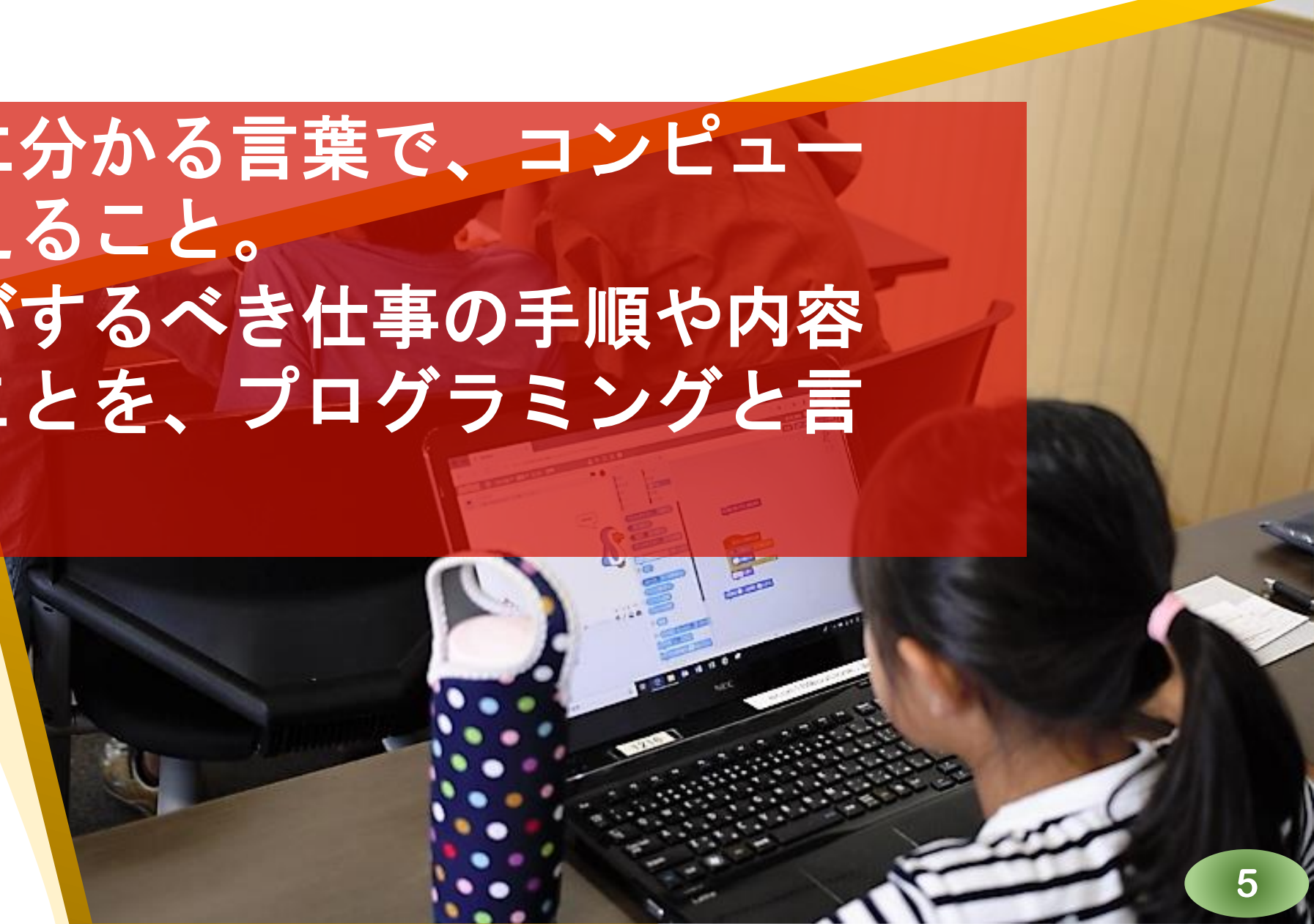
- 使用料及び賃借料：58,600円
- 謝礼：360,000円
- 消耗品費：240,000円
- 委託料：405,540円
- 会場設営費：16,000円
- 会議費用：88,000円
- 資料、備品、通信費：79,948円





プログラミングとは

コンピュータに分かる言葉で、コンピュータに指示を伝えること。
コンピュータがすべき仕事の手順や内容を書いていくことを、プログラミングと言います。





プログラミングにより



論理的思考力
問題解決力
創造力

2020年度
学校教育必修化



実施内容

場所：ときわ地域交流センター

初級コース、中級コース、応用コース
計 24 講座（各 20 名×2 時間×4 回×2 期）

夏期講座と冬期講座で計120名の募集
夏期 52 名、冬期 51 名の参加

使用言語（プログラミング）は、Scratch

講師 2 名による指導





教室風景



アンケート結果



質問	回答	夏期	冬期
教室は楽しかったですか？	楽しかった	29	35
	普通	2	4
	あまり楽しくない	0	0
教室は難しかったですか？	難しかった	12	21
	普通	12	16
	簡単だった	6	2
次回も参加したいですか？	参加したい	26	29
	わからない	4	10
	やりたくない	1	0
先生の教え方は？	分かりやすかった	26	32
	普通	5	6
	分かりにくい	0	1

成果報告

プログラミングとは何だろう？というところから、子どもたちと一緒に学び、親子の交流も図られ、プログラミングについての理解を得ることができました。



子どもたちには、プログラミングにより自分の描いたものが出来上がっていく喜び、作る面白さを十分に知ってもらいました。

プログラミング学習により、考える力、解決しようとする力が身についた。

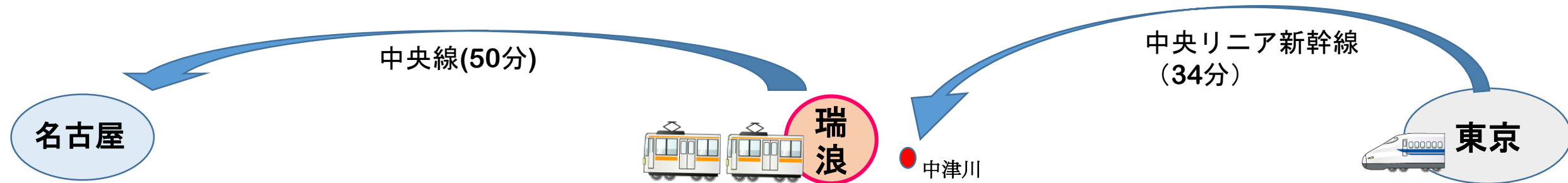
2019年度活動

プログラミング体験とドローンプログラミング





働き方改革の推進



コワーキングスペース

テレワーカーの利用

通勤時間の削減

市民への情報提供



サテライトオフィス

空き家の再利用

自然に囲まれた職住環境

理想のワークライフ





ご視聴
ありがとうございました

